

# 経済動向レポート

(R7年7月～8月を中心として)

令和7年11月 むかわ町商工会

本レポートは、次の各調査等を資料としてDI値を取りまとめたものを中心に取りまとめたものです。利用させて頂いた資料は、次のとおりです。レポート中においては、報告名称を使用させていただきます。

## 【調査資料名】

月例経済報告：北海道	北海道の景気に関する各種データや、企業からの聞き取りによる報告
調査ニュース：北海道銀行	北海道の各種指標からみた道内経済動向ニュース
とましん景況レポート：苫小牧信用金庫	主に胆振管内でのD.I.調査結果
中小企業景況調査：北海道商工会連合会	商工会地区でのD.I.調査結果

※D.I.指数：構成比(%)の差(「良い」-「悪い」による指数) ▲は、D.I.指数がマイナスになっている状態。

D.I.は景気に敏感な諸指標を選び、そのうちで上昇(拡張)している指標の割合を示すもので、景気局面の判断、予測、景気の転換点の判定に用います。D.I.は景気局面の方向性を表すもので、D.I.の大きさ自体は景気の拡張・後退の大きさとは直接関係ないとされます。

全業種概況	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 9月の月例経済報告では、令和7年7月の経済指標を中心にみて、道内の経済動向は「持ち直しの動きが続いている」とし、前回と同じ表現となっている。</li><li>➤ 10月の調査ニュースでは、令和7年7月～8月の経済指標を中心に参考として道内の経済動向は、「道内景気は緩やかに持ち直しているが、先行きは米国の関税政策が下押し圧力になる可能性はあるものの、持ち直し基調が続くと見込まれる。」となっている。個人消費、観光や輸出、雇用情勢、公共工事には持ち直しの動きが見られるが、住宅建築は下降傾向が見られる。生産は一進一退の動きになっている。</li><li>➤ とましん景況レポートでは、令和7年4月～6月期で、業種別では、鉱業・不動産業で、前期比若干の改善、他の業種はすべて後退した。仕入価格D.Iは前期から上昇しているが、人手不足D.Iは前期から後退傾向にある。</li><li>➤ 中小企業景況調査で商工会地区の経済動向をみると、業況では製造業・建設業・小売業・サービス業すべてで「後退」している。</li></ul>
その他の動向	<p>5年後(2030年)以降を見据えた中長期的な経営について (とましん景況レポートNo.163より抜粋)</p> <p>&lt;特別調査アンケート結果&gt;</p> <p>問1 最低賃金について、現行の1075円から1500円となった場合、雇用や労働時間の削減を行う見通しとそれ以外に考えられる対応策 ◎削減を行う見通しの回答は全業種で15.6%、それ以外の対応策は「販売価格を引き上げる」が多い</p> <p>問2 社会保険負担の増加が今後も見込まれるが、経営面で不安を感じているか。また、経営面への影響で考えられること ◎不安を感じているは63.4%、経営面への影響は賃金引き上げの妨げになる43.2%</p> <p>問3 わが国では、2030年以降も人口減少や高齢化の進展が見込まれているが、生産面、販売面についてどのように考えているか ◎生産面では「定年延長など高齢者の活躍推進」が35.6%、販売面では「現時点では考えていない」がもっとも多い</p>

# 業種業況（令和7年4月～令和7年6月期）とましん景況リポートNo.163より

## 業種別業況判断指数（D.I.）の推移

《構成比（％）の差（「良い」-「悪い」）による指数》

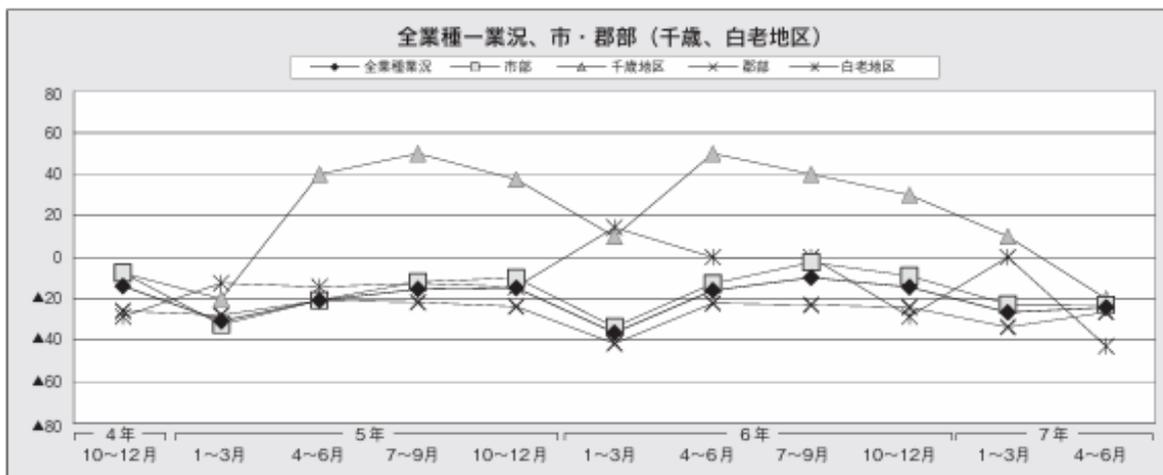
項目	令和5年			令和6年			令和7年			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月 予 想
全業種	▲ 20.8	▲ 15.4	▲ 14.8	▲ 36.4	▲ 16.0	▲ 9.8	▲ 14.4	▲ 26.6	▲ 24.2	▲ 17.9
市 部	▲ 20.7	▲ 11.9	▲ 9.9	▲ 33.6	▲ 12.7	▲ 2.5	▲ 9.0	▲ 22.7	▲ 22.9	▲ 13.8
千歳地区	40.0	50.0	37.5	10.0	50.0	40.0	30.0	10.0	▲ 20.0	▲ 10.0
郡 部	▲ 20.9	▲ 21.7	▲ 23.8	▲ 41.6	▲ 22.2	▲ 23.0	▲ 24.1	▲ 33.7	▲ 26.5	▲ 25.3
白老地区	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 14.3	14.3	0.0	0.0	▲ 28.6	0.0	▲ 42.9	▲ 28.6
製 造 業	0.0	▲ 3.3	▲ 17.9	▲ 29.2	▲ 12.9	▲ 19.4	▲ 6.9	▲ 13.8	▲ 24.1	▲ 10.3
卸 売 業	0.0	▲ 9.5	▲ 13.6	▲ 61.9	▲ 8.7	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 50.0	▲ 39.1	▲ 36.4
小 売 業	▲ 32.3	▲ 6.9	▲ 36.7	▲ 44.2	▲ 24.1	▲ 7.1	▲ 36.7	▲ 33.3	▲ 38.6	▲ 28.1
建 設 業	▲ 33.3	▲ 17.0	▲ 6.0	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	▲ 30.8	▲ 32.0	▲ 12.0
運 輸 業	▲ 33.3	▲ 47.1	11.8	▲ 29.4	0.0	▲ 23.5	0.0	▲ 37.5	▲ 23.5	▲ 11.8
サービス業	▲ 16.3	▲ 32.6	▲ 13.3	▲ 38.6	▲ 22.7	▲ 2.2	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 10.9	▲ 21.7
鉱 業	▲ 40.0	50.0	66.7	33.3	66.7	60.0	50.0	0.0	80.0	80.0
不動産業	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 30.0	12.5	22.2	▲ 11.1

\*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

### 全業種

— 業況判断指数、前期比2.4ポイント改善 —

回答事業所239件（回答率86.0%）



商工会では、下記のような問題の解決のため、補助金や専門家派遣、各種セミナーを開催しております。気になることがありましたら、商工会まで御相談ください

主な取組事例：インボイス、事業計画作成、SNS、プレスリリース、商談会対応、POP 製作、Google ビジネスプロフィール対策、BCP(事業継続力強化支援計画)策定などのセミナー

：新商品開発、資金繰り、販売促進のための専門家派遣

：HP作成、什器購入、新商品開発、看板導入による販売促進を伴う持続化補助金等の申請のサポート

## 小売業

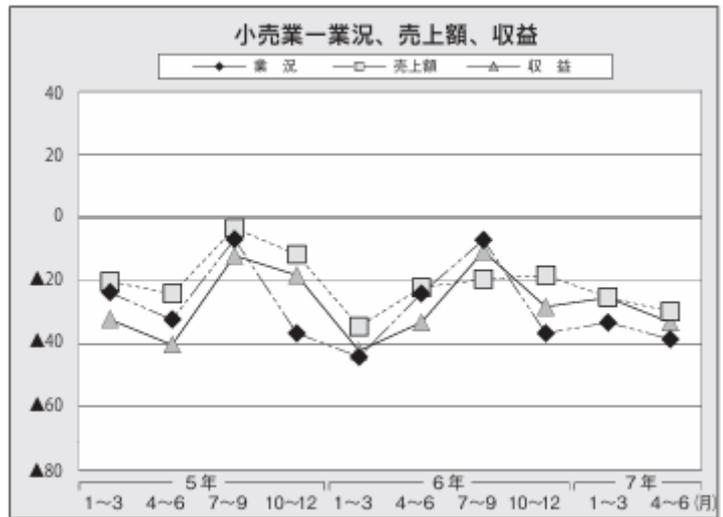
### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内小売業 57 社による業況判断指数は「▲38.6」、前期比 5.3 ポイント後退、前年同期比でも 14.5 ポイント後退した。地域別では、市部が「▲25.8」前期 0.7 ポイント改善、郡部は「▲53.8」前期比 11.5 ポイント後退した。売上額指数は「▲29.8」、前期比 4.4 ポイント後退、前年同期比でも 7.6 ポイント後退した。収益指数は「▲33.3」、前期比 7.9 ポイント後退、前年同期比は「横這い」で変わらずであった。

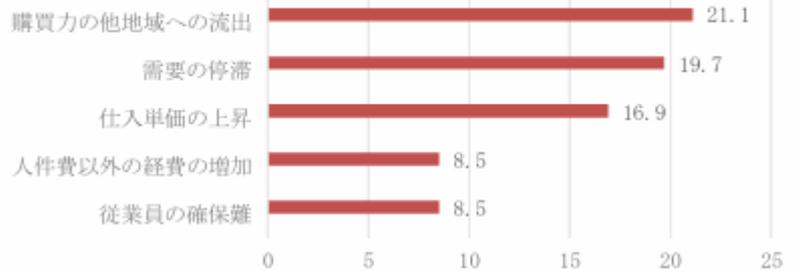
### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

1 位は前回同様、「購買力の他地域への流出」で、3.0 ポイント増加した。2 位は、前回 3 位だった「需要の停滞」で、5.8 ポイント減少した。3 位は、前回 2 位だった「仕入単価の上昇」で、1.6 ポイント増加した。4 位は前回番外の「人件費以外の経費の増加」で、0.2 ポイント増加した。5 位は、前回番外の「従業員の確保難」で、4.3 ポイント増加した。



### 経営上の問題点



## 建設業

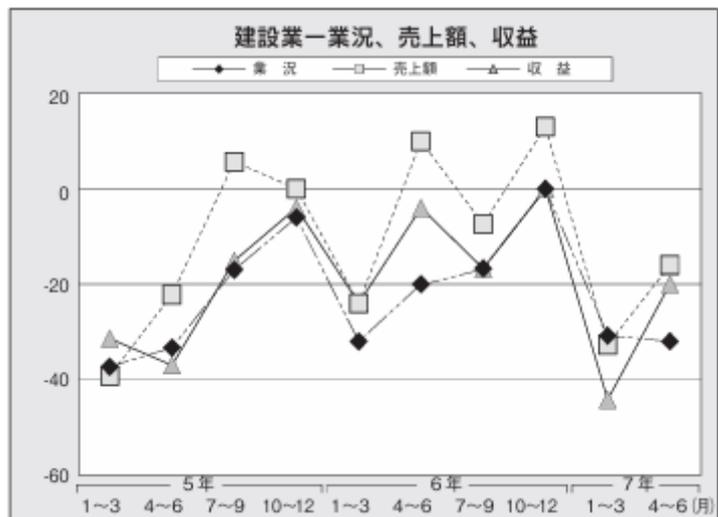
### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内建設業 53 社による業況判断指数は「▲32.0」、前期比 1.2 ポイント後退し、前年同期比でも 12.0 ポイント後退した。地域別では、市部が「▲37.1」前期比 6.6 ポイント後退したが、郡部は「▲20.0」で前期比 11.3 ポイント改善した。売上額指数は「▲16.0」、前期比 16.7 ポイント改善、前年同期比は 26.0 ポイント後退した。収益指数は「▲20.0」、前期比 24.2 ポイント改善、前年同期比では 16.0 ポイント後退した。

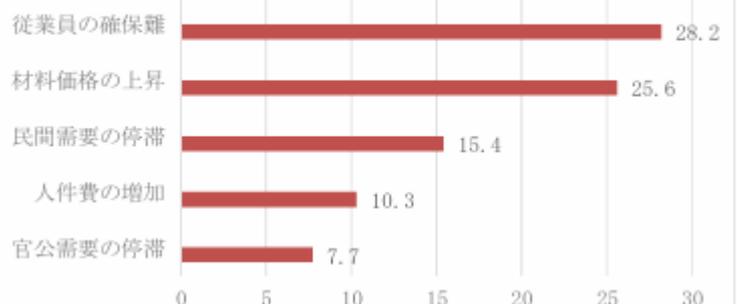
### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

1 位は前回 2 位だった「従業員の確保難」で 5.9 ポイント減少した。2 位は前回 1 位だった「材料価格の上昇」で、3.7 ポイント減少した。3 位は前回同様の「民間需要の停滞」で 0.8 ポイント増加した。4 位は前回番外の、「人件費の増加」で、5.4 ポイント増加した。5 位は前回 4 位であった、「官公需要の停滞」で、0.4 ポイント増加した。



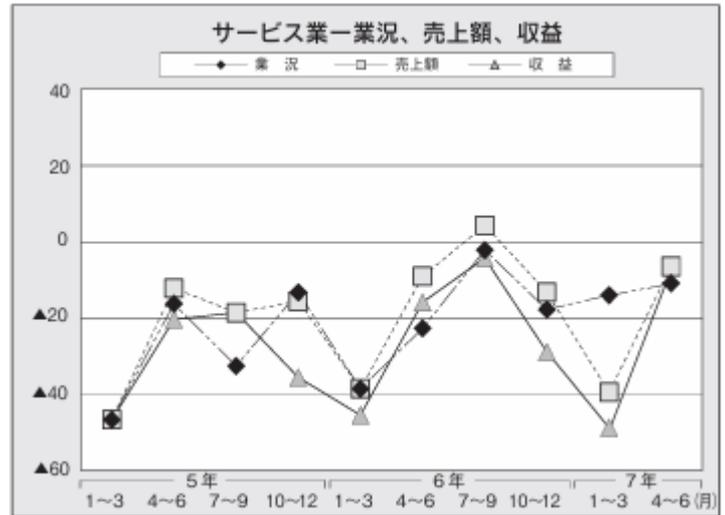
### 経営上の問題点



## サービス業

### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

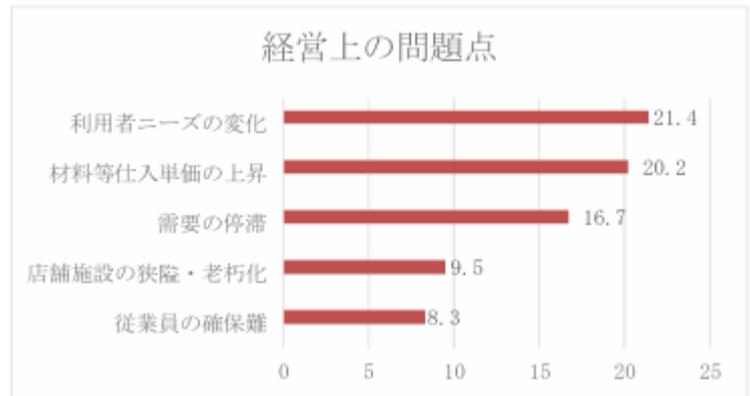
管内サービス業 46 社による業況判断指数は「▲10.9」、前期比 3.1 ポイント改善し、前年同期比でも 11.9 ポイント改善した。地域別では、市部が「▲15.6」前期比 1.8 ポイント後退、郡部では「0.0」となり前期比 14.3 ポイントの改善であった。売上額指数は「▲6.5」、前期比 33.0 ポイント改善、前年同期比も 2.6 ポイントの改善となった。収益指数は「▲6.5」、前期比 42.3 ポイント改善、前年同期比でも 9.4 ポイントの改善となった。



### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

#### ・北海道商工会連合会

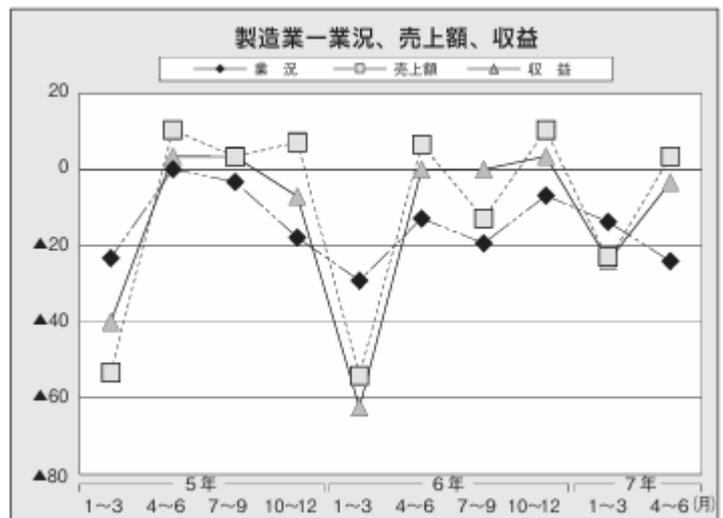
1 位は前回 3 位だった「利用者ニーズの変化」で 7.1 ポイント増加した。2 位は前回 1 位だった「材料等仕入単価の上昇」で 7.2 ポイント減少した。3 位は前回 2 位だった「需要の停滞」で 2.3 ポイント減少した。4 位は前回同様の「店舗施設の狭隘・老朽化」で 3.6 ポイント減少した。5 位は前回番外だった「従業員の確保難」で 1.2 ポイント増加している。



## 製造業

### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内製造業 29 社による業況判断指数は「▲24.1」、前期比 10.3 ポイント後退、前年同期比についても 11.2 ポイント後退した。地域別では、市部が「▲20.0」前期比 15.0 ポイント後退、郡部は「▲33.3」前期比「横這い」であった。売上額指数は「▲3.4」、前期比 27.6 ポイント改善したが、前年同期比は 3.0 ポイント後退した。収益指数は「▲3.4」、前期比 20.7 ポイント改善したが、前年同期比では 3.4 ポイント後退した。



### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

#### ・北海道商工会連合会

1 位は前回同様 1 位だった「原材料 価格の上昇」で、10.0 ポイント上昇している。2 位は、前回 3 位だった「需要の停滞」で、5.0 ポイント増加している。3 位は、前回 2 位だった「生産設備の不足・老朽化」で、2.5 ポイント減少している。4 位は、前回同様の「製品ニーズの変化」で、同ポイントの 10.0。5 位は前回番外だった「原材料の不足」で、2.5 ポイント減少している。

